

事務事業名	雲南中央地区中山間地域農業農村総合整備事業負担金	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	<V>挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>		所属G	土地改良G	
	施策名	<34>農業の振興		担当者名	保科浩二	
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	電話番号	0854-40-1053 (内線) 2401
	基本事業名	<097>農業基盤の整備・保全		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0:1 3 0 0 2 中山間地域総合整備事業 項 目 中事業 中事業名 0:5 5 0 0 1 雲南中央地区中山間地域 農業農村総合整備事業負担金	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H27 年度 ~ R7 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
■事業概要 事業区域: 大東町、加茂町、木次町 三刀屋町地内 採択年度: R2年度 事業期間: R2~R7年度 対象工種: 用排水路、区画整理、農道 鳥獣侵入防止柵、防火水槽
■市負担率(※工種により異なる) 用排水・区画・防止柵…10% 農道…15% 防火水槽…20%
■事業進捗 ①県単・補助調査業務(H29~R元) ②【採択】実施設計業務(R2~) ③工事着手(R3~)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) ■県及び関係機関、受益者との協議調整 ■負担金の支出	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) ■県及び関係機関、受益者との協議調整 ■負担金の支出				
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 協議回数	回	8	2	25	40
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	事業実施地区	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
			ア 事業計画地区数	地区	0	0	17	29
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	各種整備により営農条件の改善に繋がる	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
			ア 事業実施済地区数	地区	0	0	0	1
			イ 事業進捗率	%	0.0	0.0	0.0	0.2
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
・事業費115,000千円 内訳 ほ場整備、用排水路56,600千円 農道 58,400千円 ※実施設計業務	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円		14,400	23,000
		その他	千円			
		一般財源	千円	3,984	1,000	20
・市負担金(過疎債充当) 56,600千円×10%=5,660千円 58,400千円×15%=8,760千円 計 14,420千円		事業費計(A)	千円	3,984	1,000	14,420
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4
		延べ業務時間	時間	130	40	90
		人件費計(B)	千円	563	170	379
		トータルコスト(A)+(B)	千円	4,547	1,170	14,799

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
雲南北地区の事業完了により、同事業での新規採択を目指し、令和2年度に新規採択となった。そして、同年に交付金事業から補助事業(創設)に移行した。	特になし。	早期に事業開始を望む声が多い。

### 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている    * 余地がある場合 →	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である    * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である    * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 地元負担が軽く(5%)、中山間地域の耕作放棄地対策に有効な事業である。採択要件が年々厳しくなりつつあるが、地元要望をできるだけ拾えるよう、事業計画を検討していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 (県営)中山間地域総合整備事業による土地改良事業の実施ができなくなる。中山間地域の耕作放棄地が増加する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある    * ある場合 → <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	(具体的な手段や類似事業名) 理由 地元負担が軽く(事業費の5%)、総合的な農業基盤整備ができる事業が他にない。地元からは中山間地域総合整備事業について継続した取り組みが求められている。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 事業は、費用対効果、経済性を考慮し計画される。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 実施地区が広範囲であるため、調査調整に時間を要する。地元負担金がある事業であり、地元要望を適切に事業に反映する必要があると事務を簡素化できない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 対象地域は限定(事業採択地区のみ)されるが、広く要望を取りまとめたものに対し、緊急度や効果を算定し計画する。また、事業受益者からは受益者負担金(5%)を徴収することになる。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	中山間地域の条件不利地での総合的な農地基盤整備事業であり、受益者負担も少ない(5%)ので、継続的な実施が望まれる。	

### 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
・中山間地域の条件不利地での農地基盤整備ができる事業であり、受益者負担も少ない(5%)。そのため農業者のニーズが高く、多くの事業要望が出されている。 ・中山間地域総合整備事業は連続して3期目となる。地元の意向に応えるためにも、継続的に事業を実施していく必要があるが、国交付金の減額、県内交付金対象事業箇所増加もあり、中山間事業への予算配分は年々少なくなっている。また、近年の農政変化により、事業採択へのハードルも年々上がりつつあり、事業要望箇所のさらなる精査、見直しが必要である。																						
廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																						